

2018年

2月1日(木)

モンゴルの海洋政策と日本

2月8日(木)

明の海禁政策と日本

近世の日本と中国

各日とも 18時30分～20時 | 京都大学人文科学研究所 セミナー室1

主催 | 京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

予約不要 | 聴講無料

お問い合わせ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 Tel.075-753-6902 <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

2月15日(木)

長崎貿易信牌をめぐる新井白石と康熙帝

2月22日(木)

五爪龍と「日本国王」

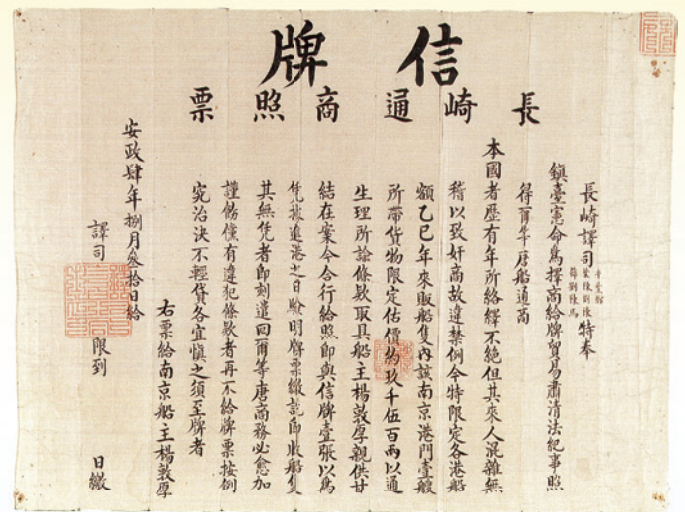
講師

岩井茂樹

京都大学人文科学研究所
教授

近世の日本と中国

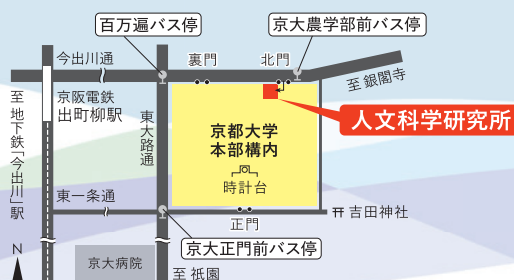
日本にとって中国は海の向こうとはいえ、数日の旅程で到達できる超大国でした。列島が弥生文化を育み、国の形すらはっきりしない時代に、中国では文明の発展がいちじるしく、巨大な帝国をうみだしていました。倭人や倭国について記録をのこしたのは、中国の歴史書でした。「倭の五王」、遣隋使や遣唐使の時代をへて、10世紀後半、中国の宋の時代から、日本と中国とのあいだの往来はいよいよ盛んになりました。モンゴルと高麗にくわえて江南地方の軍隊が大挙して日本に侵攻するという大事件は、こうした歴史の展開のなかで起こったわけです。これ以降、日本と中国は複雑で微妙な関係を持ちつづけることになります。四つのエピソードを通じて、近世の日本と中国との関係をかいま見ることにします。



岩井茂樹 (いわい・しげき)

京都大学人文科学研究所 教授
専門：中国近世史・東アジア関係史

主著：
『中国近世財政史の研究』
(京都大学学術出版会、2004)
『中国近世社会の秩序形成』
(編著、京都大学人文科学研究所、2004)
『データによる中国近代史』
(共著、有斐閣、1996)



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分
●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分／17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
いずれも京都大学北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい